

# 三稜

大志と純粹 若い情熱 清潔



七次台中学校学校便り  
第11号  
2026. 3. 13

## 卒業証書授与式 ～校長式辞～

早いもので令和7年度も残りわずかとなりました。学校では、2月下旬に1・2年生が3年生に「感謝の気持ち」を形にして素晴らしい予餞会を実施し、3月10日には立派な態度で3年生が卒業証書授与式を無事に終えることが出来ました。私は、この学校の校長として過ごせたことを誇りに思いますし、感謝の気持ちでいっぱいです。伝えきれない思いがたくさんありますが、学校だより最終号に添えて、卒業証書授与式の「校長式辞」の内容を載せさせていただきます。

### 「式辞」

校庭の桜の蕾が花開くのを待ち望む、このよき日に、令和七年度の卒業を迎えた157名の三年生の皆さん、卒業おめでとう。また、お子様をこれまで大切に育ててくださった保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、今、手元にある卒業証書を手にしなが、どんな思いが湧いてくるでしょうか。この157枚の卒業証書には、157通りの三年間の思い出がたくさん詰まっています。三年の月日は、日数にして約1,000日あまり。この1,000日の間に、あなた方は、たくさんの活動と経験を積み、成長してきました。皆さんと会ったのは二年前。後輩たちをグイグイ引っ張る三年生を追っていたのが皆さんでした。その先輩が卒業し、新三年となった皆さんは、どんな三年生になるのだろうと興味深く見ていました。今度は「おとなしめの三年生」なのかなと勝手に思い込んでいました。しかし、その予想は、うれしい誤算であったと、すぐにわかりました。一人一人が、しっかりしていて、最上級生としての自覚を持ち、後輩たちへの説明や見本の動きなども、優しく丁寧に教えていました。そして学年目標である「今頑張る」を胸に、自分のために、仲間のために、未来のために活動してきました。校長である私は、この二年間、皆さんの勇姿をカメラのファインダーを通してたくさん見てきました。その記録は数千枚に及びます。その中に見えた、真剣なまなざし、懸命な顔、躍動感のある動き、喜びの笑顔と、それぞれの貴重な瞬間を見せてもらいました。もしかしたら、皆さんの一番いい場面を、私が特等席で、いつも見せてもらっていたのかも知れません。だからこそ分かる、七中生の「底力」や、「輝く姿」でした。

また、今年度の学校教育目標は「『挑戦』～Go Seven's Go!～ 進め、七中生 伝統継承と進化」でした。皆さんは、見事に、この目標を達成し、「三年生とは、こうあるものだ」という姿を見せてくれました。それは、生徒会を中心に、全校生徒の日常活動を活性化させ、部活動では、来る日も来る日も実直に練習に励み、体育祭では、リーダーシップを取り、合唱祭では、一丸となる姿が、今でも目に焼き付いています。学習面では、グループワークを中心に「脳に汗かく授業」に積極的に取り組みました。そして、誰もが楽しく、みんなで分かち合える、「温かい仲間たち」を作り上げました。

話は変わりますが、俳人の松尾芭蕉の俳諧の心構えの中で、「不易流行」という言葉がありま

す。その意味とは、「不易」すなわち、変えてはならない伝統を知らなければ基礎が成り立ちません。しかし、「流行」すなわち、時代の変化に対応しなければ新たなものは生まれません。つまり、変えることのできない基礎基本を知らなければ、物事は始まらないが、時代とともに変化する、新しいことを知ろうとしなければ、新たな進歩はない。という意味になるでしょうか。

以前は、十年ひと昔と言われていたものが、五年、三年ひと昔となり、今では一年ひと昔とも言われる時代となっています。そのように目まぐるしく変化する時代の中に、皆さんは、自分らしく生き生きと生き抜いていかなければなりません。

皆さんにとって、これからの人生は、順風満帆に行くときもあれば、いかないときもあるかもしれません。しかし、ここで学んだ皆さんなら、大丈夫。自分が置かれている環境を受け止め、自分はどうするべきか、どうしたいのかを考え、臨んでください。そして、苦しく、辛いときには、助けを求めてください。自分だけで解決することが全てではありません。そのときに、この三年間を思い出してください。あなたがピンチの時には、仲間が支えてくれたはずで、そして、仲間が苦しいときには、あなたが手を差し伸べてきたはずで、これからの新しい世界でも、自分と仲間を大事にしながら、感謝の気持ちをもって、仲間と共に事を成し遂げてください。もう一度言います。皆さんなら大丈夫、自信をもって、これからの生きてください。

結びに、マザーテレサの言葉を借りて、皆さんに送ります。「神様は、私たちに成功してほしいなんて思っていません。ただ、挑戦することを望んでいるだけです」

これからの、皆さんの前途に、幸多かれと願い、式辞といたします。

令和8年3月10日 白井市立七次台中学校 校長 宗政 隆雄



### 3月・4月の行事予定

◆3月◆		◆4月◆	
3日(火)	公立高校入学許可候補者発表 実力テスト(1・2年)	7日(火)	始業式・着任式
4日(水)	新入生体験入学	8日(水)	入学式準備
5日(木)	思春期講演会(3年)	9日(木)	入学式
6日(金)	保健学習	10日(金)	新入生歓迎会
9日(月)	卒業証書授与式準備	13日(月)	身体測定 給食開始
10日(火)	卒業証書授与式(2・3年) 自宅学習日(1年)	14日(火)	防災訓練 仮入部開始
16日(月)	授業参観・保護者会	15日(水)	個人写真撮影
17日(火)	全校評議会	16日(木)	全国学力学習状況調査
18日(水)	大掃除	20日(月)	SNS教室
19日(木)	専門委員会 給食最終日	24日(金)	部活動正式入部
20日(金)	春分の日	29日(水)	昭和の日
24日(火)	修了式・離任式	30日(木)	授業参観・保護者会
25日(水)	学年末休業(～4月6日)		

\*予定は変更されることがあります。

## 予餞会

2月27日(金)に予餞会を実施しました。1・2年生と生徒会本部はこの日のために準備を重ね、趣向を凝らした企画や温かなメッセージで3年生への感謝を表しました。劇やダンス、合唱では3年間の思い出を振り返り、書道パフォーマンスや群読では心のこもった言葉が会場に広がりました。各学年が工夫した発表や装飾により、会場全体が温かい雰囲気に包まれました。

卒業を控えた3年生にとっては、仲間や在校生と心を通わせる大切な時間となりました。また、在校生にとっても、先輩方の活躍を改めて実感するとともに、準備に取り組む中で多くを学ぶ貴重な機会となりました。(3年生の感想を一部掲載します。)

★(1年生へ)楽しい予餞会をありがとうございました!「正解」の合唱と最後のメッセージが感動しました。尾崎先生のものまねがめっちゃ似て面白かったです。

★(1年生へ)ネタの数が多くてクオリティーも高く、ダンスの振り付けとかもがんばったという感じが伝わり、とても楽しい予餞会でした。また来年も素晴らしい予餞会を作ってください!!

★(2年生へ)「今日好き」をオマージュしたオープニングが面白かったです。先生のファッションショーも特徴を捉えていて見応えがありました。一生懸命準備したことがよく伝わりました。本当に楽しかったです。

★(2年生へ)習字のやつとか、今好きとかおもしろかったです。歌もすばらしかったです。クオリティーが高く、さすが2年生だと思いました。



## 新入生体験入学

3月4日(水)、新入生体験入学を実施しました。4月に入学予定の七次台小・清水口小の児童に来校してもらい、生徒会本部が中学校生活について説明しました。授業や部活動など、これから始まる学校生活の様子を紹介しました。その後は部活動見学を行いました。グラウンドの水もほぼ引き、多くの部活動の様子を見てもらうことができました。中学校から新たに始まる授業や部活動に、小学生たちは興味津々の様子でした。入学後には、生徒会主催の新入生歓迎会を予定しています。中学校生活への理解をさらに深め、在校生とともに充実した毎日を過ごしてほしいと願っています。



相  
談  
窓  
口

<七次台中学校相談室> 毎週水曜日 SC: 藤井慧太先生

<白井市教育相談室> 492-2301 火曜日~金曜日 9:30~16:30

<セクハラ相談窓口> 教頭、養護教諭、西宮教諭、白井教諭

<白井市家庭児童相談室> 497-3477 月曜日~金曜日 9:30~16:30

<子どもと親のサポートセンター> 0120-415-446 (24時間)

<24時間子供SOSダイヤル> 0120-0-78310 (24時間)

<ヤング・テレホン(県警察少年センター)> 0120-783-497 月曜日~金曜日 9:00~17:00

<子供人権110番(千葉地方法務局)> 0120-007-110 月曜日~金曜日 8:30~17:15